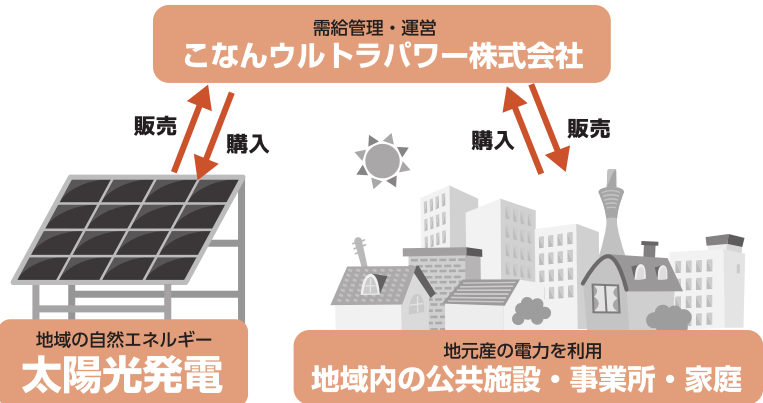


# 自然エネルギーで地域を元気に!

地元の電力を地域内で利用することで、資金が循環します



こなんウルトラパワー株式会社は、一般の家庭や商店・事務所などに低圧電気の販売を開始しました。月の使用量が350kWh以上の家庭や500kWh以上使う店舗や事業所にはお得なプランです。

**こなんウルトラパワー**  
お申し込みはWEBで  
<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは  
☎0800・800・5084  
午前9時～午後6時(土曜・日曜・祝日を除く)

## コナン市民共同発電所 6月の発電結果

**初号機** 発電量: **1,842kWh**  
バンバン発電所 売電額: **81,048円**  
設備容量 20.8kW

一般家庭 約6軒分

**貳号機** 発電量: **12,019kWh**  
甲陸発電所 売電額: **528,836円**  
設備容量 105.6kW

一般家庭 約40軒分

**参号機** 発電量: **1,417kWh**  
十二坊温泉 売電額: **49,878円**  
ゆらら発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約4軒分

**四号機** 発電量: **2,979kWh**  
柑子袋まちづくり 売電額: **104,860円**  
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約9軒分

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

さて、特別定額給付金の支給については県内最速で実施しましたので、申請の締切が先月6日となりました。その結果、受取りを断られた人や行方分からない人などを除く約99.3%の世帯にお届けすることができました。ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症対策のひとつとしては、接触しないということが挙げられます。湖南市ではウイルスが流行する以前から市役所の電子自治体化を進めてきました。す

また、新型コロナウイルス再流行時のテレワークの準備や、膨大な手作業を必要としてきた人事給与関係事務のAI化など、働き方改革やコスト削減にもつながる取組も検討します。

本日から市議会9月定例会が始まりますが、条例改正などのほか、次のような補正予算を提案しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業費を減額すること。新型コロナウイルス感染症流行下における多重災害発生時に避難所となる小学校体育館と物資集積所となる総合体育館に換気を目的とした冷風機を導入すること。

菩提寺地区と中央地区の排水対策を検討すること。観光消費の落ち込みと賑わいの減退を回復するための周遊クーポンの配布を行うこと。

新型コロナウイルス感染症対策のための緊急スタールサポータースタッフを配置すること。修学旅行キャンセル時のキャンセル料を市が負担すること。図書館に図書消毒器を導入し、フリーWiFiを整備すること。

## 谷畑市長の まちづくり 最前線レポート No.163

に基幹システムなどは草津市や甲賀市など8市でクラウド化をしています。

現在は、県や他市と連携し、行政手続の電子化の研究を進めており、スマホなどからの利用しやすい住民票などの電子申請について、秋口から実証実験を始める予定としています。

また、新型コロナウイルス再流行